
エコアクション21

環境活動レポート・2017



対象期間 2017年4月1日～2018年3月31日

作成日：2018年 6月20日

発効日：2018年10月 4日

岐阜スバル自動車株式会社

～ 目 次 ～

	頁
【1】 組織概要	1
【2】 推進組織図	2
【3】 店舗一覧	3
【4】 環境方針	4
【5】 過去 5 年間の実績推移	5
【6】 環境目標	6
【7】 2017 年度の実績	7
【8】 環境活動の取組み	8
I 計画とその行動評価、次年度の取組み	
II 取組事例	
【9】 環境関連法規への違反・訴訟の有無	11
【10】 代表者の評価、見直し	11

【1】組織概要



I. 事業者名

岐阜スバル自動車株式会社

II. 所在地

岐阜県岐阜市細畑一丁目7番15号

III. 代表者氏名及び役職

代表取締役社長 沼 耕一

IV. 推進責任者並びに担当者及び役職

推進責任者	代表取締役	社長	沼 耕一
副推進責任者	営業支援部	部長代理	小櫻 晃
EA21 実行責任者	サービス部品部	部長代理	久我 央
EA21 統括事務局	名古屋スバル自動車 統括 CSR 推進部	部長	西尾 護
補佐	名古屋スバル自動車 CSR 推進課	主査	山崎 学

連絡先 TEL：058-245-8416/FAX：058-248-5259

V. 事業の内容

スバル車の販売並びに付随する関連業務

- ①新車・中古車販売
- ③前各号に関する部品・用品等の関連商品の販売
- ④車検・定期点検・一般修理・板金塗装等の自動車の修理
- ⑤自動車損害賠償保障法に基づく保険代理店業

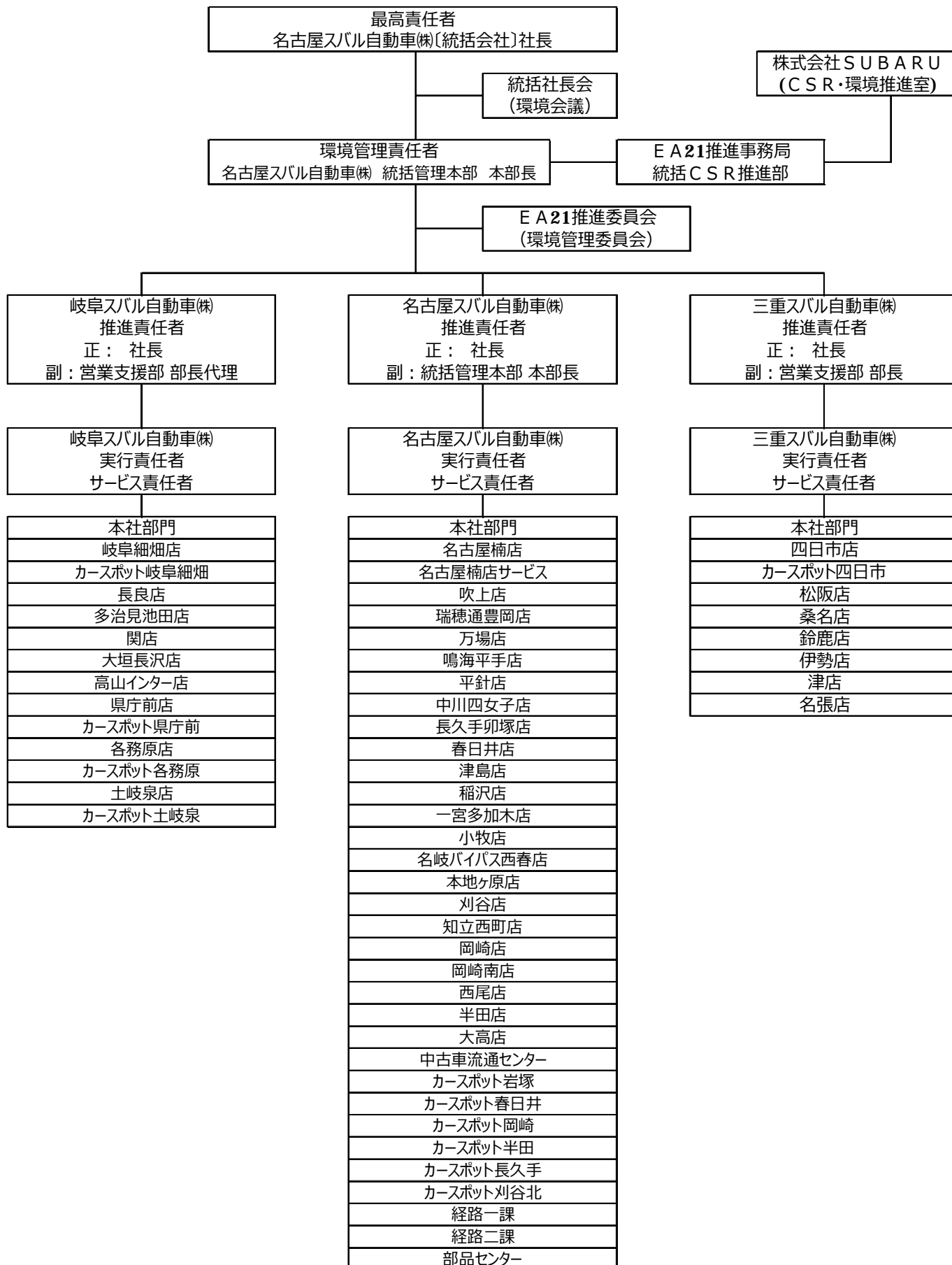
VI. 事業の規模

①年間売上高	10,458百万円	(2017年度)
②新車販売台数	3,138台	(2017年度)
③中古車販売台数	1,887台	(2017年度)
④従業員数(派遣、パート含む)	181人	(2018年4月時点)
⑤関連事業所	新車9店舗、中古車4店舗 (店舗一覧参照)	

VII. ISO21 認証・登録範囲

本社を含む全組織、全活動が対象である

【2】推進組織図



※今後三社統合を見据えた推進組織体系とした。

【3】店舗一覧

岐阜県事業所名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号	工場	組織区分		
					資格			
1 本社	500-8238	岐阜県岐阜市細畑一丁目7番15号		058-245-5259	—	A		
							営業本部	058-245-4125
							営業支援部	058-245-4126
							支援課	058-245-4128
							お客様相談室	
							営業部	058-245-4128
							経路営業部	058-245-4129
							中古車部	058-245-4127
サービス部品部	058-245-8416							
サービス課								
2 岐阜細畑店	500-8238	岐阜県岐阜市細畑一丁目7番15号	058-245-4120	058-245-8479	指定工場	C		
3 カースポット岐阜細畑	500-8238	岐阜県岐阜市細畑一丁目7番3号	058-245-8560	058-245-8480	—	B		
4 長良店	502-0081	岐阜県岐阜市長良三丁目270番地	058-296-1420	058-296-1421	指定工場	C		
5 多治見池田店	507-0048	岐阜県多治見市池田町9丁目1-3	0572-22-7137	0572-22-7143	指定工場	C		
6 関店	501-3253	岐阜県関市平成町4丁目1番70号	0575-22-0193	0575-22-2291	指定工場	C		
7 大垣長沢店	503-0833	岐阜県大垣市長沢町2丁目9-1	0584-75-5161	0584-75-5163	指定工場	C		
8 高山インター店	506-0001	岐阜県高山市冬頭町730番地1	0577-32-9600	0577-34-3230	指定工場	C		
9 県庁前店	500-8381	岐阜県岐阜市市橋3丁目6-3	058-274-7117	058-274-7473	指定工場	C		
					カースポット県庁前	—	B	
10 各務原店	509-0146	岐阜県各務原市三ツ池町3丁目33番地	058-379-5131	058-379-2760	指定工場	C		
					カースポット各務原	—	B	
11 土岐泉店	509-5101	岐阜県土岐市泉町河合911-4	0572-55-0301	0572-55-0304	指定工場	C		
					カースポット土岐泉	—	B	

組織区分の意味

A=カー業務（事務所業務）

B=カー業務+自動車販売(新車、中古車)

C=カー業務+自動車販売（新車、中古車）+整備業務

工場の資格で、指定は指定整備工場、認証は認証工場を示す

環 境 方 針

《基本理念》

北に日本アルプスを頂、南に木曾三川の清らかな流れを有し又世界遺産そして近世日本の歴史を作った発祥の地、この自然豊かな地に岐阜スバル自動車は生業を営む。

当社は、スバル車の販売・サービス（整備）等の事業活動から生ずる、環境への影響を低減する事が社会貢献の一つと考えます。また、企業市民として地域への環境保全活動にも積極的に取り組んでいきます。

《基本方針》

この理念のもと、当社が行う自動車及び部品の販売、整備、修理、保険業務に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を推進します。

1. 事業活動の全領域で、省資源、省エネルギー（CO₂削減を含む）、リサイクル、公害防止に配慮した活動を行います。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスが継続的に改善できるように推進します。
3. 適用する環境関連の法規制、条例、および当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
4. 特に次の環境保全の重要項目に対して、環境目標を設定及び実施運用テーマとして取り組む。必要があれば見直しを行います。
 - ①省エネルギーの推進（電力使用量、燃料使用量）
 - ②省資源（水使用量、紙使用量）
 - ③廃棄物の排出抑制と適正処理（一般及び産業廃棄物排出量削減）
 - ④化学物質管理の強化（労働安全衛生法関連）
 - ⑤拠点周辺の清掃活動を行い、地域の環境改善に貢献する
 - ⑥グリーン購入法対象品の購入促進
5. この方針を全従業員に周知し、教育活動を推進します。



環境方針制定日：平成21年4月1日
 環境方針改定日：平成30年4月1日
 岐阜スバル自動車株式会社
 代表取締役社長 沼 耕一

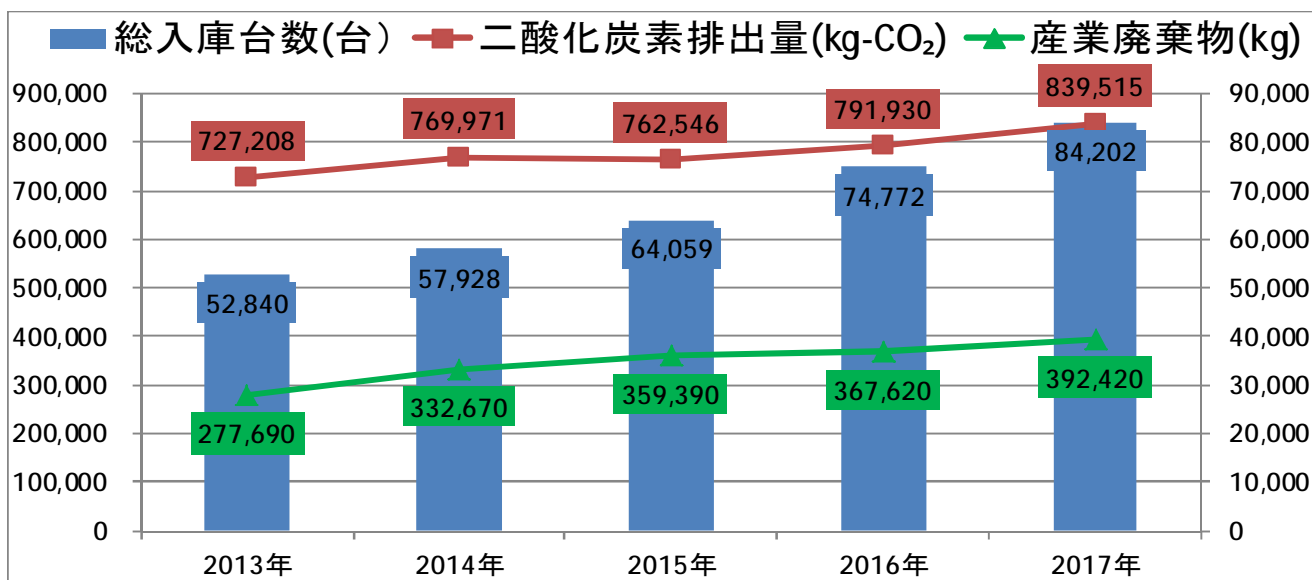
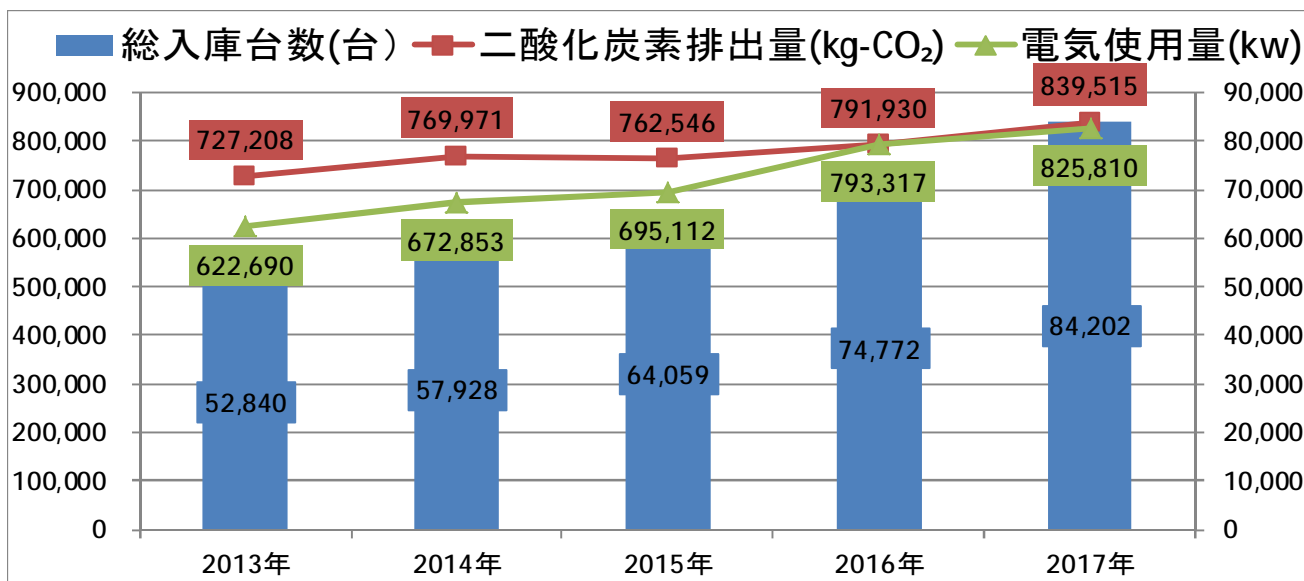


SUBARU

Confidence in Motion

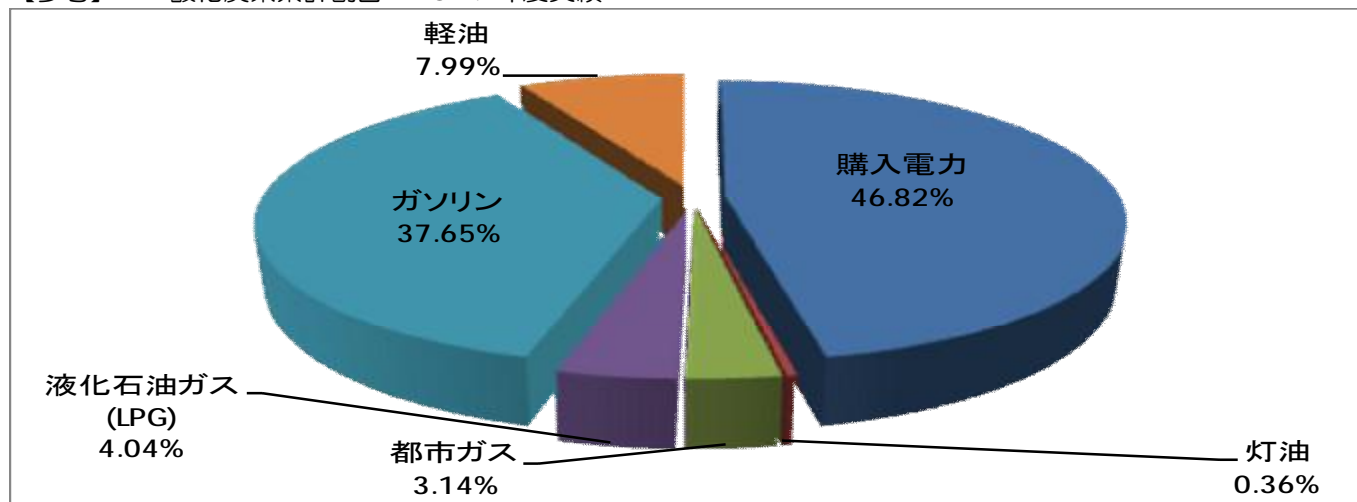
【5】過去5年間の実績推移

I. 実績数値の推移



※二酸化炭素排出係数は推移比較を行う為、購入電力二酸化炭素排出係数は、2017年度中部電力実排出係数 0.476kg-CO₂/kWh を使用。

【参考】 二酸化炭素累計割合 2017年度実績





SUBARU

Confidence in Motion

【6】環境目標

当社の事業活動が環境に与える負荷を把握し、影響が大きいと考えられるI初ギ-の使用量・産業廃棄物の排出量及び水使用量も削減活動に重点をおき、環境負荷の低減及び環境汚染の防止に努めます。同時にリサイクルの推進も積極的に行います。

1.前年度基準目標

前年度実績より1%削減を目標とします。各店舗はこの基準を目標に2017年度の活動を展開しました。

項目	単位	2016年度実績	2017年度目標
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	791,930	784,011
電気使用量	kWh	793,317	785,384
燃 料	ガソリン	L	124,193
	灯油	L	819
	軽油	L	23,293
	LPG	kg	11,410
	都市ガス	Nm ³	13,544
水使用量	m ³	6,463	6,398
産業廃棄物	t	368	364
12ヶ月点検入庫率	%	60%	60%
点検パック新車時付保率	%	84%	82%
点検パック車検時付保率	%	35%	43%

※前年度の1%削減を目標とします。各店舗はこの基準を目標に2017年度の活動を展開しました。

2.中期目標

2017年度の実績を基準に、1年間に1%の削減を目標に、3年間の目標を策定しました。この目標は、全社的な投資計画などに反映させます。

項目	単位	2017年度実績	2018年度目標	2019年度目標	2020年度目標	
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	839,515	831,119	822,808	814,580	
電気使用量	kWh	825,810	817,552	809,377	801,283	
燃 料	ガソリン	L	136,142	134,780	133,432	132,098
	灯油	L	819	810	802	794
	軽油	L	25,554	25,299	25,046	24,795
	LPG	kg	11,289	11,176	11,064	10,954
	都市ガス	Nm ³	12,518	12,393	12,269	12,146
水使用量	m ³	6,190	6,128	6,066	6,006	
産業廃棄物	t	392	388	385	381	
12ヶ月点検入庫率	%	85%	90%	90%	90%	
点検パック新車時付保率	%	82%	83%	83%	83%	
点検パック車検時付保率	%	49%	50%	50%	50%	

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、2017年度中部電力実排出係数0.476kg-CO₂/kWhを使用。

※12ヶ月点検入庫率、点検P新車時付保率、車検時付保率の目標は株式会社SUBARUの目標を使用

【7】2017年度の実績

I. 数値実績

1. 前年度基準目標比較

項目	単位	2016年度実績	2017年度実績	対目標	評価	
				削減率		判定
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	791,930	839,515	-6.0%	×	
電気使用量	kWh	793,317	825,810	-4.1%	×	
燃料	ガソリン	L	124,193	136,142	-9.6%	×
	灯油	L	819	819	0.0%	○
	軽油	L	23,293	25,554	-9.7%	×
	LPG	kg	11,410	11,289	1.1%	○
	都市ガス	Nm ³	13,544	12,518	7.6%	○
水使用量	m ³	6,463	6,190	4.2%	○	
産業廃棄物	t	368	392	-6.7%	×	
12ヶ月点検在庫率	%	60%	85%	41.3%	◎	
点検パック新車時付保率	%	84%	82%	-2.4%	×	
点検パック車検時付保率	%	35%	49%	39.6%	◎	

判定基準・・・×：0%未満 ○：0～10%未満 ◎：10%以上

注1：電気使用量のCO₂換算係数は2017年度中部電力実績値を使用 0.476kg-CO₂/kWh

2. 中期目標比較

項目	単位	2017年度目標	2017年度実績	対目標	評価	
				削減率		判定
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	784,011	839,515	-7.1%	×	
電気使用量	kWh	785,384	825,810	-5.1%	×	
燃料	ガソリン	L	122,951	136,142	-10.7%	×
	灯油	L	810	819	-1.0%	×
	軽油	L	23,060	25,554	-10.8%	×
	LPG	kg	11,296	11,289	0.1%	○
	都市ガス	Nm ³	13,409	12,518	6.6%	○
水使用量	m ³	6,398	6,190	3.3%	○	
産業廃棄物	t	364	392	-7.8%	×	
12ヶ月点検在庫率	%	60%	85%	42.0%	◎	
点検パック新車時付保率	%	82%	82%	-0.2%	×	
点検パック車検時付保率	%	43%	49%	14.0%	◎	

判定基準・・・×：0%未満 ○：0～10%未満 ◎：10%以上

注1：電気使用量のCO₂換算係数は2017年度中部電力実績値を使用 0.476kg-CO₂/kWh

【8】環境活動の取組

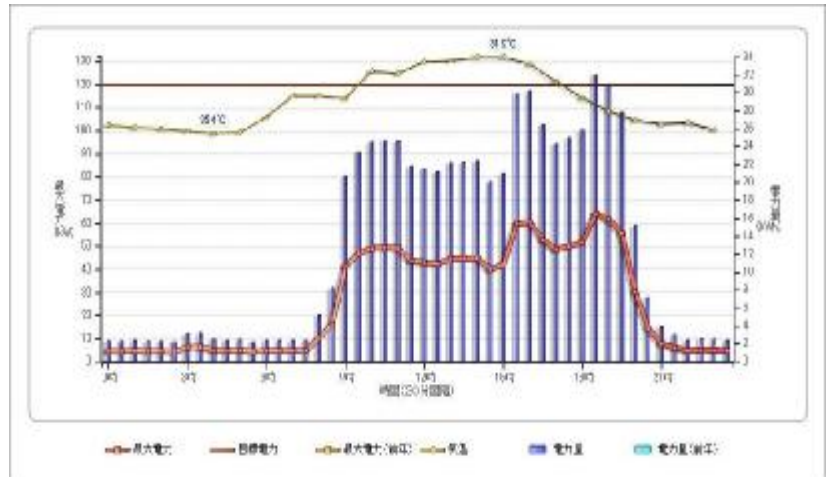
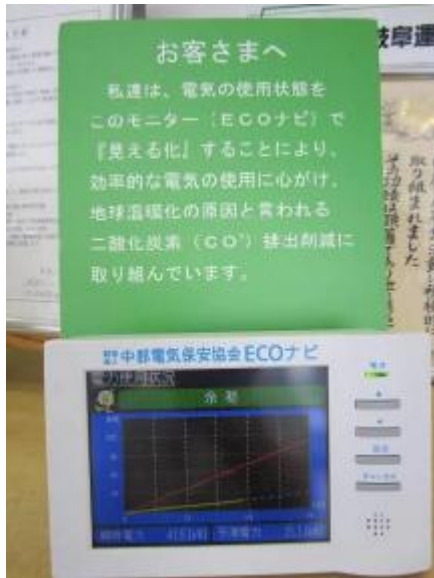
I. 計画とその行動評価、次年度の取組み

項目	計画	取組み結果	評価	次年度の取組
本来業務による環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> ①サービス部門の正確な作業推進 ②スマートボード活用による入庫管理、残業削減 ③点検パットの積極的な提案の実施 ④12ヶ月点検入庫率の向上 ⑤タイヤを始めとするI商品品の販売促進（燃費向上） 	<ul style="list-style-type: none"> ①入庫台数増で作業に追われ若干数作業の正確性に欠けた ②意識高く入庫管理を行ったが、市場措置の増加により入庫台数が増え、残業削減には至らなかった ③全数提案を実施し付保率を上げることが出来た 	△	<ul style="list-style-type: none"> ①継続して取組む ②継続して取組む ③継続して取組む ④継続して取組む ⑤継続して取組む
電気使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ①節電への取組強化を促す掲示を電源SW付近に貼り、不在時、不必要な照明の消灯を徹底する ②冷暖房の室温管理（暖房22℃、冷房28℃）夏場、冬場の商談スペースの配置の考慮 ③高圧モニター監視装置導入による節電、カーピスの導入（5月～10月） ④サイン看板灯、広告塔点灯、消灯時間の管理 春（3～4月）18:00～19:30 夏（5～8月）19:00～19:30 秋（8～11月）18:00～19:30 冬（12～2月）16:30～19:30 	<ul style="list-style-type: none"> ①節電の意識は定着したが、前年に比べ新車売上台数の増加、多くの市場措置等による整備入庫台数の増加に伴い、工場稼働時間が伸びた事により使用量が増加 ②お客様、従業員健康管理面で夏の酷暑による空調使用（CS向上、熱中症防止）の増加も影響した 	×	<ul style="list-style-type: none"> ①継続して取組む ②継続して取組む ③継続して取組む ④継続して取組む
燃料使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ①効率的な代車等の使用により、社用車を削減する。社用車の入替え及びメンテナンス効率的な代車の使用 ②エコドライブの推進、マニティドライブの推進活動（マニティドライブとは妊婦さんや新生児が同乗しているつもりで運転を行うエコドライブです） ③営業活動における顧客訪問時には定期的な保守、整備（空気圧のチェック）を行なう 	<ul style="list-style-type: none"> ①効率的な代車等の使用、社用車のメンテナンスを適切に実施した ②エコドライブの推進、マニティドライブの推進活動を啓蒙した ③営業活動時には事前点検（空気圧のチェック）を行った 	×	<ul style="list-style-type: none"> ①継続して取組む ②継続して取組む ③継続して取組む ④継続して取組む
水道水使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ①水道の故障、水道管の破損時は速やかに管理担当者に連絡し修復を行なう ②車両洗車時の節水 ③蛇口付近に節水を呼びかける張り紙等を貼り節水に対する注意喚起をする 	<ul style="list-style-type: none"> ①整備入庫車両に対しQUOカードの配布や外部洗車施策の導入により水道使用量が削減できた。 ※QUOカードとは、プリペイドカードの一種で、お買い物の際に、カードを現金の代わりに使える 	○	<ul style="list-style-type: none"> ①継続して取組む ②継続して取組む ③継続して取組む

項目	計画	取り組み結果	評価	次年度の取組
産業廃棄物排出量削減	①マニフェストの管理を徹底する。 ②分別再資源化の推進 （可燃ごみ、紙ごみ、ダンボール、プラスチックごみ） ③一般廃棄物は適正に管理し一定量になったら許可業者に引渡す ④廃クーラの管理を徹底する	①産業廃棄物の適正処理を徹底した ②産業廃棄物の増加はサービス入庫台数増により修理部品などの廃棄物増加が要因と考えられる	△	①継続して取組む ②電子マニフェスト導入を検討する。 ③継続して取組む ④継続して取組む
紙（コピー用紙）削減	①Eメールの活用 （FAXの削減、A4に印刷しない） ②コップライツに違反しない裏紙使用の徹底 ③余分な紙を使わない （回覧等で済むものは回覧にし、紙枚数を減らす）	①店舗間で格差はあるものの新車販売台数、整備入庫台数の増加により複数の見積書や提案書の作成により紙使用量が増加したと考えられる	△	①継続して取組む ②継続して取組む ③継続して取組む
一般ごみ削減	①分別別容器の設置と分別別回収による資源のリサイクルの推進と一般ごみの削減	①紙製の分別容器を利用して分別回収に取り組んだ	△	①継続して取組む
化学物質管理	①PRTR 物質使用量の把握 ②化学物質の使用量の抑制	①適正に管理を行っており、少量の抑制に努めた	○	①継続して取組む
社会貢献	①地域社会への環境保全活動	以下の取組みを行った ①店舗周辺、近隣の清掃活動の実施 ②地域、自治会、町内会との協力 ③交通違反、交通事故撲滅運動への参加。 ④インターアップ受入れ ⑤子ども110番の家登録	○	①継続して取組む
自動車部品リサイクル	①自動車部品のリサイクルを遵守する	①バッテリーは資源再利用の為に積極的に回収し、リサイクル部品の活用を行った	○	①継続して取組む
その他	①グリーン購入法対象物の購入促進 ②環境関連法令を遵守する ③内部監査の実施	①事務用品、省エネ基準適合商品積極的に購入した ②統括 CSR 監査時に店舗内を確認し、環境関連法令を遵守しているか確認を行った	○	①継続して取組む ②継続して取組む ③継続して取組む

Ⅱ. 取組事例

1. 電気使用量削減



(中部電気保安協会、岐阜事業所様にもご指導、ご協力いただきました)

- ① デマンド監視サービスは、刻々と変化する電気使用量を常時監視し、管理目標として設定されたデマンド値を超過しないように警告やランプで知らせるサービスで、これにより今まで意識しなかった電気使用量が「見える化」され、電気料金が削減できるだけでなく CO₂ 削減により地球温暖化対策にも貢献します

※ デマンド値とは 30 分最大需要電力ともいい、電力会社の電気料金算出に使われる電力値で、30 分単位における平均電力を現します

2. 自社製品、サービスに付随する環境への配慮

① 17タイヤ販売

低燃費タイヤ ・ブリヂストン：エコピア ・ヨコハマタイヤ：ブルーアース ・ダンロップ：エナジー



* 転がり抵抗軽減によりガソリン代の節約や温室効果ガスの CO₂ 削減に繋がり地球環境保全に貢献。

② 工整備



工クリーナーエンジン

公害防止装置(PCVバルブなど)、ブローパワーステムを洗浄することにより作動をスムーズにし、排ガス等を減少させ温室効果ガスのCO₂削減に繋がり地球環境保全に貢献。

3. 地域貢献

① 岐阜県子育て家庭応援キャンペーン事業参加こども110番の家登録



ぎふっこカード



赤ちゃんステーション



こども110番の家

- ※ ぎふっこカードとは「ぎふっこカード」を持つ子育て世帯が県内の企業・店舗の協力により、買い物や施設利用などをする際に、割引やポイント加算の特典が受けられたり、買い物中に託児サービスやベビーカーの貸し出しサービス、授乳室、キッズコーナーの利用が出来たりするなど、子育て家庭を地域全体で応援していく仕組みです。
- ※ 赤ちゃんステーションとは岐阜県赤ちゃんステーションは、県内に所在し、「授乳の場」「おむつ替えの場」あるいは「ミルクのお湯」のいずれかを無料で提供する店舗や施設です。
- ※ こども110番の家とはこども達が登下校時や遊んでいる時に不審者から「声かけ」「つきまとい」などの被害に遭いそうになった時に避難できるよう、参加整備工場では見やすい位置にこの看板を掲示しています。

【9】環境関連法規への違反、訴訟の有無

I. 主な環境関連法規

主な適応法規	要求事項
水質汚濁防止法	特定施設の届出(自動車自動洗車装置等)
下水道法	排水施設の設置義務 特定施設の届出
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理、処理委託業者との契約締結
消防法	少量危険物貯蔵の届出
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正処理
化管法（P R T R法）	特定物質の排出量・移動量の把握と記録
騒音規正法	特定施設の設置の届出
フロン排出抑制法	業務用エアコンの点検、清掃
浄化槽法	定期的な保守点検、清掃、法定検査の実施

II. 違反、訴訟の有無

当社における環境関連法規への違反、訴訟はありません。

尚、関係当局により違反等の指摘は過去3年間なく、自ら遵守確認しています。

【10】代表者の評価、見直し

I. 評価

2017年度は、車両販売、整備入庫とも前年を上回る結果を残すことが出来たが、一方で二酸化炭素の排出量は大きく増加した結果となった。

これは、昨年にも増して多くの市場措置を優先に入庫させた事と車検、定期点検と言ったお客様のお車を安全に快適にご使用いただくために入庫台数が増加した結果と言える。

それに伴い、従業員には昨年同様長時間労働といったマイナス面も発生していることから次年度の課題であると考えます。

また、本業である自動車販売、整備面からのEA21活動の取組と5S活動をリンクさせ効率的な取り組みとしたい。

II. 見直し

点検パック加入ユーザーの増加と複数の市場措置で今後も入庫台数が増える事は認識している。

それにより労働時間の長期化が目立った一年だった、特にサービス部門の時間外労働増加が顕著であり、これに伴う電気使用量やI補給機使用量の増加が挙げられる為、従業員の労働時間に気を配り残業時間の削減、二酸化炭素排出量の削減に努める。

